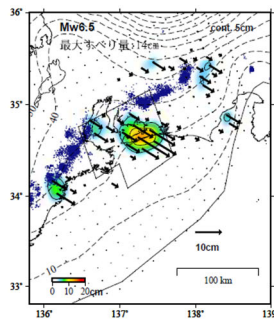


令和7年4月7日 報道発表資料

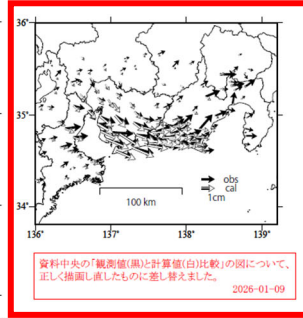
「南海トラフ地震関連解説情報について ー最近の南海トラフ周辺の地殻活動ー」の19ページ
修正内容 観測値と計算値の比較図（国土地理院資料）の差し替え

正

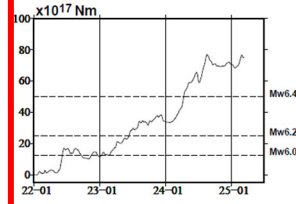
GNSSデータから推定された東海地域の長期的ゆっくりすべり（暫定）
推定すべり分布
(2022-01-01/2025-03-13)



観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2022-01-01/2025-03-13)



モーメント* 時系列（試算）



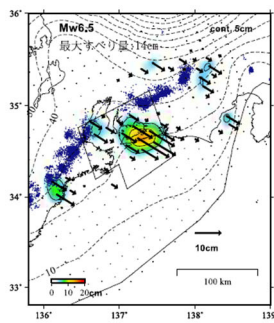
および最大すべり量はプレート面によって算出した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは各半箇に描画したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（σ）の3倍以上のグッドネスを黒色で表示している。
使用データ：GONNETによる日々の座標値（F5解、R5解）
F5解（2021-07-01/2025-02-22）+R5解（2025-02-23/2025-03-13）
トレンド期間：2020-01-01/2022-01-01（年周・半年周成分は補正なし）
モーメント計算範囲：左図の地殻内層
観測値：3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
断層線：フィリピン海プレート上面の等深線（Iriose et al., 2008）
すべり方向：プレートの沈み込み方向に南東
青丸：低周波地震（気象庁一元化震源）（期間：2022-01-01/2025-03-13）
固定局：三箇

*電子基準点の保守等による変動は補正している。
*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形は補正している（Suito 2017）
*気象庁カタログ(2017年以降)の短期ゆっくりすべりを補正している。
*共通誤差成分を推定していない。
*令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。
*令和6年能登半島地震の粘弾性変形は補正している。
*モーメント：断層運動のエネルギーの目安となる量。

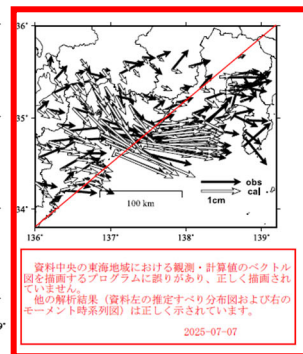
国土地理院

誤

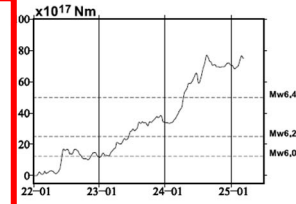
GNSSデータから推定された東海地域の長期的ゆっくりすべり（暫定）
推定すべり分布
(2022-01-01/2025-03-13)



観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2022-01-01/2025-03-13)



モーメント* 時系列（試算）



および最大すべり量はプレート面によって算出した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは各半箇に描画したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（σ）の3倍以上のグッドネスを黒色で表示している。
使用データ：GONNETによる日々の座標値（F5解、R5解）
F5解（2021-07-01/2025-02-22）+R5解（2025-02-23/2025-03-13）
トレンド期間：2020-01-01/2022-01-01（年周・半年周成分は補正なし）
モーメント計算範囲：左図の地殻内層
観測値：3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
断層線：フィリピン海プレート上面の等深線（Iriose et al., 2008）
すべり方向：プレートの沈み込み方向に南東
青丸：低周波地震（気象庁一元化震源）（期間：2022-01-01/2025-03-13）
固定局：三箇

*電子基準点の保守等による変動は補正している。
*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形は補正している（Suito 2017）
*気象庁カタログ(2017年以降)の短期ゆっくりすべりを補正している。
*共通誤差成分を推定していない。
*令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。
*令和6年能登半島地震の粘弾性変形は補正している。
*モーメント：断層運動のエネルギーの目安となる量。

国土地理院